

学校名 熊谷市立中条中学校
所在地 熊谷市今井539番地1
電話 048-521-3092

1 本校の概要

本校は、自然豊かな郊外に位置する全校生徒105名の小規模校である。素直で純粋な生徒が多く、落ち着いて学習や運動に励んでいる。朝の読書タイムについても、平成14年度から実施され、現在まで落ち着いた様子で取り組まれている。また、「中条中50冊の本」を選定し、中学生の間にぜひ読んでほしい本を推薦し、学級文庫として教室に置く取組も行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実（朝の読書タイムの充実・読書月間の取組）

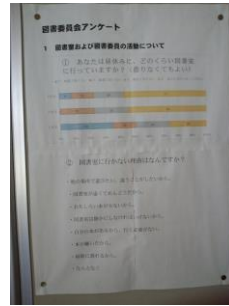
「中条中50冊の本」の選定

言語活動など学力向上に結びつけた取組

(2) 実践の概要

ア 毎朝8:10～8:25までを読書タイムとし、担任も共に教室で落ち着いて読書をする時間としている。ほとんど声かけが必要でないくらい自然に読書がすすめられている。長年続けてきた成果であると思われる。また、毎年11～12月に「読書月間」を位置づけることによって、朝の読書タイムに変化をつけ、読書への意欲を喚起する活動を行っている。活動としては、先生方のお薦めの本についての講話や生徒の読書感想文の発表、読書に関するアンケート、お薦めの本の紹介文の作成、図書委員会による生徒集会を行う。生徒集会の中では、多読賞（今年度学年で一番多く本を読んでいる生徒）・50冊の本多読賞（中学校入学後学年で一番多く50冊の本を読んでいる生徒）・今年度平均で一番多く本を読んでいるクラスを表彰し、さらに意欲

をもたせることをねらいとしている。



イ 「中条中50冊の本」をいち早く選定し、大人の立場から中学生の間にぜひ読んでほしい本を示し、読書記録カードの裏面に添付している。又、小学校から中学校3年生までに読んだ50冊の本にマークできるようにし、読書月間において表彰を行うなどの意識付けを行っている。「大人が中学生に読んでほしい本」という観点にこだわり、推奨している。

ウ 国語の授業においては、本の紹介をテーマにしたスピーチを行い、教科との連携における言語活動を推進している。また、読書カードの記入も国語授業の一環として行い、国語への関心・意欲・態度として評価している。

3 成果と今後の課題

- (1) 朝の読書タイムで落ち着いて読書をする姿勢が身に付いていると共に読書の習慣が身に付きつつある。又、読書記録カードの定期的な記録や表彰等によって読書への意欲が喚起されている。
- (2) 教師が「中条中50冊の本」を選定し、推奨することで生徒の読む本の範囲が増えている。また、読書月間等で教師自らが読書について語り、大人が読ませたい本へと興味が広がっている。
- (3) 今後の課題としては、国語科だけではなく、いろいろな教科と連携してさらに読書活動を推進していけるような取組を行っていくことである。